

臥薪嘗胆

- ①呉王闔廬伍員を挙げて国事を謀らしむ。
- ②員字は子胥。
- ③楚人伍奢の子なり。
- ④奢誅せられて呉に奔り、呉の兵を以ゐて郢に入る。
- ⑤呉越を伐ち、闔廬傷つきて死す。
- ⑥子の夫差立つ。
- ⑦子胥復た之に事ふ。
- ⑧夫差讎を復せんと志し、朝夕薪中に臥し、出入するに人をして呼ばしめて曰はく、「夫差、而越人の而の父を殺せるを忘れたるか。」と。
- ⑨周の敬王の二十六年、夫差越を夫椒に敗る。
- ⑩越王句践、余兵を以ゐて会稽山に棲み、臣と為り、妻は妾と為らんと請ふ。
- ⑪子胥言ふ、「不可なり。」と。
- ⑫太宰伯嚭越の賂を受け、夫差に説きて越を赦さしむ。
- ⑬句践国に反り、胆を坐臥に懸け、即ち胆を仰ぎ之を嘗めて曰はく、「女会稽の恥を忘れたるか。」と。
- ⑭国政を挙げて大夫種に属し、而して范蠡と兵を治め、呉を謀るを事とす。

⑯ 夫差乃ち子胥に属鏤の剣を賜ふ。

⑮ 太宰嚭子胥謀の用ゐられざるを恥ぢて怨望すと譖す。

⑰ 子胥其の家人に告げて曰はく、「必ず吾が墓に檮を樹ゑ

よ。」

⑯ 檮は材とすべきなり。

⑰ 吾が目を抉りて、東門に懸けよ。

⑯ 以つて越兵の呉を滅ぼすを觀ん。」と。

・ 乃ち自剄す。

・ 夫差其の尸を取り、盛るに鴟夷を以つてし、之を江に投
　　ず。

・ 呉人之を憐れみ、祠を江上に立て、命けて胥山と曰ふ。

・ 越、十年生聚し、十年教訓す。

・ 周の元王の四年、越呉を伐つ。

・ 呉三たび戦ひ三たび北ぐ。

・ 夫差姑蘇に上り、亦成を越に請ふ。

・ 范蠡可かず。

・ 夫差曰はく、「吾以つて子胥を見る無し。」と。

・ 幕冒を為りて乃ち死す。